

DATA FILE

■貸借対照表(要旨)

科目	平成13年度上半期末	
	金額	構成比
資産の部		
現金及び預貯金	1,626	1.0
コールローン	6,730	4.0
買入金銭債権	130	0.1
金銭の信託	459	0.3
有価証券	92,906	55.0
（うち国債）	31,789	18.8
（うち地方債）	2,773	1.6
（うち社債）	13,254	7.8
（うち株式）	31,467	18.6
（うち外国証券）	13,241	7.8
貸付金	53,565	31.7
保険約款貸付	3,620	2.1
一般貸付	49,944	29.6
不動産及び動産	10,187	6.0
（うち不動産）	10,104	6.0
代理店貸	1	0.0
再保険貸	10	0.0
その他資産	2,345	1.4
繰延税金資産	1,499	0.9
貸倒引当金	△ 451	△ 0.3
資産の部合計	169,011	100.0

■損益計算書(要旨)

科目	平成13年度上半期	
	金額	百分比
経常収益	14,975	100.0
保険料等収入	10,532	
資産運用収益	1,988	
（うち利息及び配当金等収入）	1,741	
（うち有価証券売却益）	244	
その他経常収益	2,453	
（うち責任準備金戻入額）	1,544	
経常費用	14,653	97.8
保険金等支払金	10,101	
（うち保険金）	3,028	
責任準備金等繰入額	6	
資産運用費用	2,030	
（うち金銭の信託運用損）	42	
（うち売買目的有価証券運用損）	29	
（うち有価証券売却損）	65	
（うち有価証券評価損）	621	
（うち金融派生商品費用）	11	
（うち特別勘定資産運用損）	1,009	
事業費	1,354	
その他経常費用	1,160	
経常収支残高	322	2.2
特別利益	0	0.0
特別損失	162	1.1
税引前半期収支残高	159	1.1
法人税及び住民税	27	0.2
半期収支残高	141	0.9

■基礎利益

平成13年度上半期	
基礎利益	1,043

(単位:億円、%)

科目	平成13年度上半期末	
	金額	構成比
負債の部		
保険契約準備金	152,026	90.0
（うち責任準備金）	146,264	86.5
代理店借	0	0.0
再保険借	10	0.0
その他負債	9,348	5.5
退職給付引当金	1,438	0.9
債権売却損失引当金	0	0.0
特定債務者支援引当金	43	0.0
価格変動準備金	928	0.5
再評価に係る繰延税金負債	338	0.2
負債の部合計	164,135	97.1
資本の部		
基金	600	0.4
法定準備金	1,018	0.6
再評価差額金	597	0.4
剰余金	957	0.6
任意積立金	524	0.3
前期繰越剰余金	291	0.2
半期収支残高	141	0.1
評価差額金	1,702	1.0
資本の部合計	4,875	2.9
負債及び資本の部合計	169,011	100.0

■貸借対照表(要旨)について

●「資産の部」

生命保険会社の資産の部は、一般の企業のような流動・固定の区分ではなく、どのように運用しているのかがわかるように資産運用の形態（現金及び預貯金、有価証券、貸付金、不動産及び動産等）により区分しています。

●「負債の部」

生命保険会社では、保険業法の規定により、将来の保険金・年金・給付金の支払いに備え、ご契約者から払い込まれた保険料などをもとに、責任準備金の積立が義務付けられています。負債の部は、この責任準備金などの保険契約準備金が大部分を構成しています。

●「資本の部」

相互会社の資本の部は、株式会社の資本金に相当する「基金」や商法および保険業法の規定により積立を義務づけられている「法定準備金」、「評価差額金※」などで構成されています。

※「その他有価証券」の時価評価の適用について

保有する有価証券のうち「売買目的有価証券、責任準備金対応債券、満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式」のいずれにも分類されない「その他有価証券」の時価評価について、当社は平成12年度から前倒し適用しました。「その他有価証券」の評価損益は損益計算書には計上されず、評価差額金として税効果分を除いて貸借対照表の資本の部に計上されます。

■損益計算書(要旨)について

生命保険会社では、一般の企業のような営業損益、営業外損益、特別損益という区分ではなく、経常損益、特別損益の2つの区分になります。経常損益は、保険に関わる損益と資産運用に関する損益およびそれ以外の損益で構成され、経常収益と経常費用に分けられます。経常収益には保険料等収入や資産運用収益などが記載され、経常費用には保険金等支払金や資産運用費用、事業費などが記載されています。この経常収益と経常費用の差が、決算時の経常利益に相当する「経常収支残高」となります。この経常収支残高に特別損益を加減算したものが「税引前半期収支残高」となり、これに税調整を行ない「半期収支残高」が算出されます。

ソルベンシー・マージン比率

(単位:億円)

項目	平成13年度上半期末	平成12年度末
ソルベンシー・マージン総額(A)	12,257	17,460
（うち資本の部合計）	2,763	3,241
（うち価格変動準備金）	928	901
（うち危険準備金）	2,376	2,376
（うちその他有価証券の評価差額（税効果控除前）×90％）	2,399	6,733
リスクの合計額(B)	4,864	5,234
ソルベンシー・マージン比率(A)	504.0％	667.2％
$\frac{(1/2) \times (B)}{(1/2) \times (B)} \times 100$		

(注) 1. 保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条および第190条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 「うち資本の部合計」には社外流出予定額、繰延資産およびその他有価証券の評価差額金を除いた金額を記載しています。

実質純資産額

(単位:億円)

	平成13年度上半期末	平成12年度末
実質純資産額	13,587	19,368
(総資産に対する比率)	8.0％	11.1％

(注) 「保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令」第3条第2項の規定に基づき算出しています。

有価証券等の含み損益相当額（一般勘定）

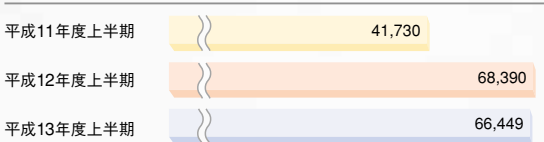
(単位:億円)

区分	平成13年度上半期末			平成12年度末		
	帳簿価額	時価	含み損益相当額	帳簿価額	時価	含み損益相当額
公社債	43,997	46,491	2,494	41,823	44,434	2,611
株式	25,746	26,370	623	26,583	31,449	4,865
外国証券	7,766	9,399	1,633	5,718	7,836	2,117
その他共計	77,828	82,523	4,695	74,422	83,993	9,571
期末日経平均株価	9,774.68円			12,999.70円		
期末円・ドル相場	119.40円／\$			123.90円／\$		

(注) 時価のある有価証券等の含み損益相当額です。

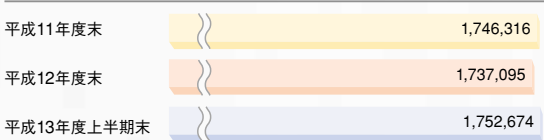
●新契約高の推移（個人保険・個人年金保険の合計）

(単位:億円)



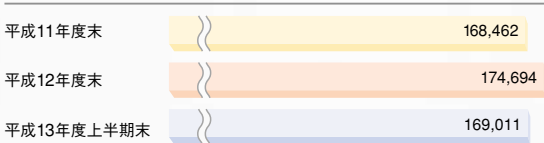
●保有契約高の推移（個人保険・個人年金保険・団体保険の合計）

(単位:億円)



●総資産の推移

(単位:億円)



ソルベンシー・マージン比率について

国内の景況感悪化が鮮明になる中、株式市場の低迷が続いた結果、「その他有価証券の評価差額（税効果控除前）×90％」の減少につながり、ソルベンシー・マージン比率低下の大きな要因となっています。当社では今後ともあらゆるリスクに備え、競争力のある資産ポートフォリオの構築に努めていきます。

●価格変動準備金

株式などの価格変動の著しい資産について、その価格が将来下落したときに生じる損失に備えることを目的に、保険業法第115条第1項に基づいて積み立てた金額です。

●危険準備金

保険契約に基づく将来の債務を確実に履行するため、将来発生が見込まれる危険に備える準備金です。将来発生が見込まれる危険とは、保険リスクおよび予定利率リスクとされています。

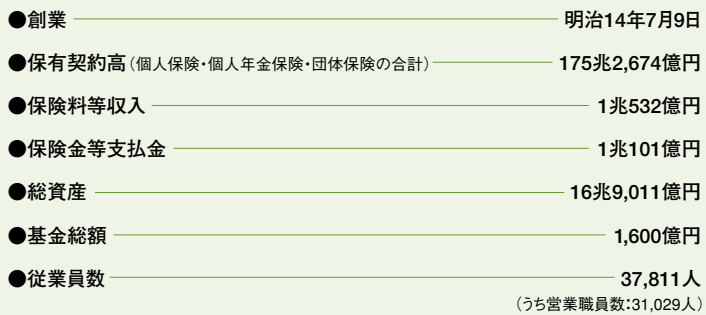
リスク管理債権額

(単位:億円)

区分	平成13年度上半期末	平成12年度末
破綻先債権額	17	31
延滞債権額	215	169
3ヵ月以上延滞債権額	9	—
貸付条件緩和債権額	111	225
合計	353	426
(貸付残高に対する比率)	0.66％	0.78％

■MEIJI LIFEプロフィール

(平成13年9月末現在)



■お役に立ちました

平成13年度上半期（4～9月）、お客さまにお支払いした保険金等支払金は総額で1兆101億円に達しました。うち、保険金・年金は3,684億円、給付金は2,226億円と、多くのお客さまのお役に立っています。